

コモンズ・フォーラム（勉強会）ver. 8

今、トラジロウの軌跡に学ぶ 勇払原野のヒグマ行動

～苫東地域の緑地が果たしている役割と共生の道～

主催：NPO法人 苫東環境コモンズ 後援：株式会社 苫東

わたしたち苫東環境コモンズは、勇払原野の一角にある苫東地域で、コモンプール資源「ハスカップ」の保全観察と、美しい「雑木林」の実現を目指した保育と利活用を進めてきました。

このうち雑木林については、その植生と景観を将来に向けて持続させることを命題にして、里山的な利活用を推進していますが、近年は活動のフィールドでヒグマとのニアミスが連続し、かつその頻度が急増しています。また、苫東地域で企業活動する経営者にとっても、ヒグマの存在は職員の安全上、懸念される課題になると言われています。



↑H30/6/23 平木沼緑地で



↑捕獲されてテレメーターをつけられるトラジロウ（『ヒグマの原野』から）

このような現状を受けて、今回のフォーラムでは、苫東をはじめ勇払原野を移動したヒグマ「トラジロウ」を数年にわたり追跡調査した青井俊樹氏（当時・北大苫小牧研究林林長）と早稲田宏一氏（当時・北大農学部林学科大学院生）をお招きして、トラジロウが残した足跡と、そこから見えてくるこれからのヒグマ行動等についてお話していただき、今後の対応を考えます。

記

1. 開催期日

令和2年6月13日（土曜日）午後2時から4時半まで

2. 開催場所

苫小牧市市民活動センター 3階 講習室

（苫小牧市若草町3丁目3-8 電話 0144-32-7111）

3. 講師

基調講演 「トラジロウが教えてくれたもの — 奇跡のコリドーが今危機に!?!—」

青井俊樹氏 岩手大学名誉教授

.....

報告 「これからの苫東とヒグマの付き合い方 ～札幌の事例から学ぶ～」

早稲田 宏一氏 特定非営利活動法人 EnVision 環境保全事務所

講師プロフィール

■青井俊樹氏

・～平成12年:北海道大学苫小牧地方演習林林長 早稲田氏と共にトラジロウを3年間追跡、ほか

・平成12年:岩手大学農学部教授 東北地方の、人とツキノワグマほか野生動物との共生に関する取り組みに従事

・平成27年:岩手大学を定年退職 引き続き東北地方における、人と各種野生動物との共生に関する取り組みに従事

著書:北の森にヒグマを追って(大日本図書)

ヒグマの原野(フレーベル館) ほか

■早稲田宏一氏

学生時代に苫小牧で青井氏(当時北大苫小牧地方演習林林長)とともにヒグマの生態調査に関わる。その後はヒグマ・エゾシカなどの調査研究や被害対策の業務に従事。狩猟者としても活動するほか、野生動物の生態を普及する活動にも取り組んでいる。

4. 主催者等

主催 NPO苫東環境コモンズ

後援 株式会社 苫東

5. 申し込みとお問い合わせ

NPO苫東環境コモンズ事務局 草苺 e-mail; kt-884-556@nifty.com

携帯; 090-6999-2765

*これまで実施したコモンズに関するフォーラム(1～6)

北海道開発協会HP <https://www.hkk.or.jp/kenkyusho/chosa.html>

*勉強会の視点と問題提起

- ①トラジロウの移動ルートと、これをもとに予想されるヒグマの苫東内移動
- ②支笏・樽前帯～勇払原野～日高というつながりの中の、ヒグマから見た苫東の位置、役割
- ③かつては無事故で済んだ苫東で、今後遠からず事故が発生しないか
- ④ヒグマにとって避けがたいルートと、人にとって貴重な生産空間を両立させるためにどうすればよいか
- ⑤共生しながら、苫東の評価を高めることができる方策はないか

以上